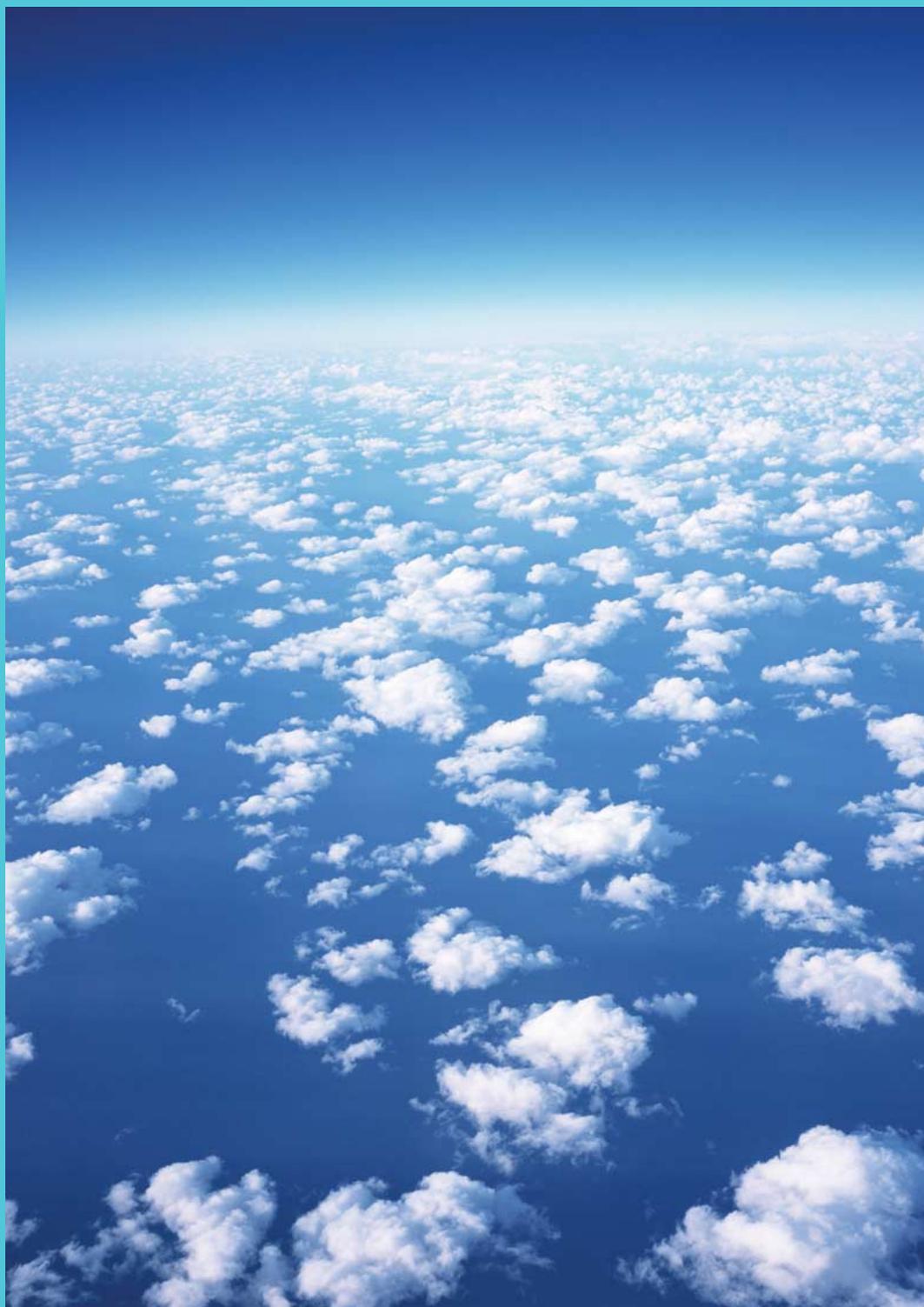


# 環境報告



スバルでは、1990年に環境問題改善プロジェクトをスタートさせ、1993年（第1次）、1996年（第2次）、2002年（第3次）と環境自主取り組み活動を進め、2006年度で第3次環境ボランタリープランの5年間の活動が終了しました。本報告書では、2006年度の活動結果を中心に、第3次環境ボランタリープラン5年間の活動結果を報告します。また、2007年度からは第4次環境ボランタリープラン（2007年度から2011年度までの新たな環境保全自主取り組み計画）がスタートしています。現在は、この第4次環境ボランタリープランの目標達成に向けて、グループ全体で積極的に環境負荷の低減に取り組んでいます。

# Environmental Management

## グループ全体で地球環境問題に全力で取り組んでいます

**POINT**

- ① 2006年度はCO<sub>2</sub>排出量、用水使用量、PRTR対象化学物質使用量をそれぞれ低減しました。
- ② 環境マネジメントシステムに基づいた緊急時対応訓練、改善事例発表会などを実施しています。
- ③ 現在は、第4次環境ボランティアプランの目標達成に向けてグループ全体で取り組んでいます。

### 環境方針

地球環境問題は経営における最重要課題のひとつであるという認識のもと、企業理念に基づいて環境保全に取り組む「環境方針」を制定し、方針達成のための具体的な行動指針を「環境保全の運営基準」として定め、全員参加で活動を推進しています。

#### 環境方針（1998年4月制定）

常に環境と事業活動の深い関りを認識し、地球と社会と人にやさしい商品と環境づくりに努め、豊かな未来の実現を目指します。

#### 環境方針の運営基準

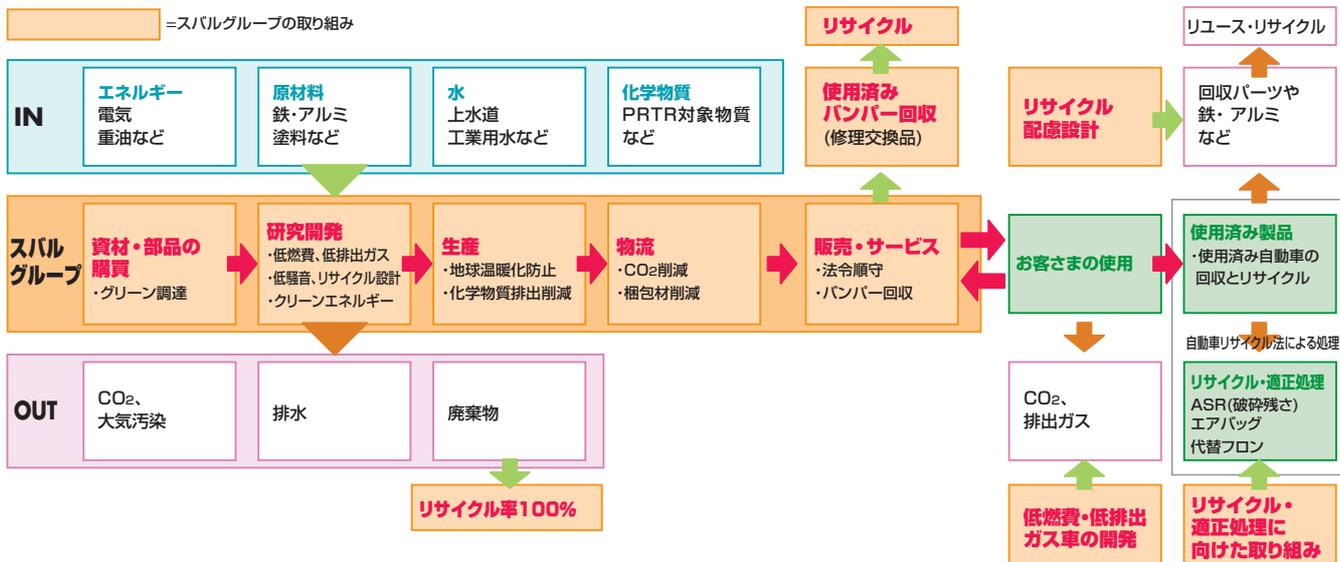
- ① 商品の開発・設計・製造・販売・サービス・廃棄など各段階における環境への影響を考慮して、積極的な環境保全に努めます。
- ② 関連する法規制・地域協定・業界規範を順守するとともに、環境上の目的・目標を定めて自主的な活動に取り組みます。
- ③ 「継続的な改善と汚染の未然防止」が重要であることを認識し、一人ひとりが自覚と責任を持って行動します。
- ④ 環境に関し、階層・職種に応じた教育を推進し、環境意識の定着を図ります。
- ⑤ 計画的な監査・診断を実施し、環境保全活動のさらなる向上を図ります。
- ⑥ 社会の一員として、地域や社会との交流を図るとともに、環境保全活動に積極的に協力します。

### 企業活動と環境への影響

スバルは自動車等の輸送機器を中心としたメーカーです。自動車は私たちの暮らしになくてはならない便利で快適な乗り物ですが、限りある地球の資源を消費し地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>や、大気汚染の原因となる物質を排出します。私たちはこれら自動車の持つ二つの側面を強く認識し、その上で「自動車と生きる愉しさ」「豊かな自動車社会」の実現に向けた取り組み

を行わなければならないと考えています。自動車の開発、生産、使用、廃棄、リサイクルという一連のライフサイクルを通して、環境に与える影響を十分に考慮し、環境への負荷を削減することによって、自動車もたやす豊かさ（気持ちよい走り 快適・信頼）と地球環境対応（燃費性能向上）の融合を目指していくことが、私たちの責務だと考えています。

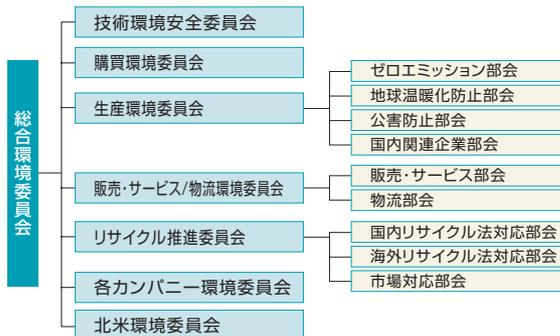
#### ◆自動車に関わるスバルグループの環境負荷全体像



## 環境マネジメント

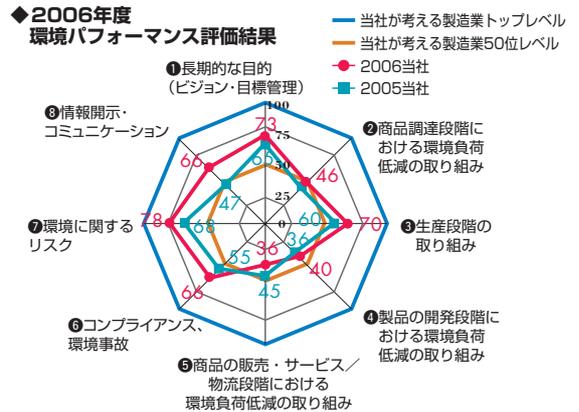
### 組織体制

スバルでは、環境方針・環境保全の運営基準・環境ボランティアプラン目標を達成するために、総合環境委員会を設置しています。総合環境委員会は環境担当役員を委員長とし全事業所の代表者が参加し運営される委員会組織であり、2007年5月に開催された同委員会では、第3次環境ボランティアプランの実績総括と、第4次環境ボランティアプランの自主取り組み方法について議論を行いました。



### 環境パフォーマンス評価制度

当社では2002年度より「環境パフォーマンス評価制度」を導入して、更なる環境パフォーマンスの向上に取り組んでいます。2006年度の結果は下図のとおりです。今後の取り組み課題として、「販売サービスおよび製品開発段階における環境負荷低減の取り組み強化」などがあげられました。



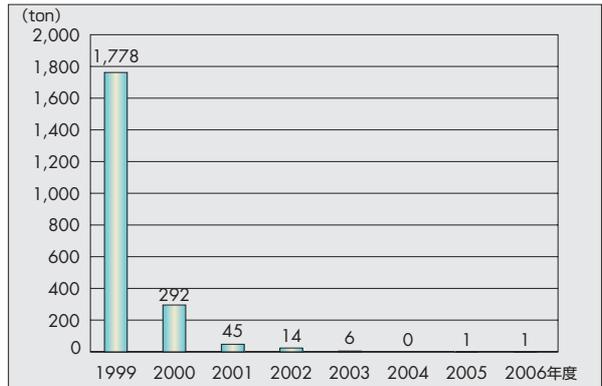
## 環境パフォーマンス

当社の2006年度の主な環境パフォーマンスはグラフに示すとおりです。CO<sub>2</sub>排出量、用水使用量、PRTR対象化学物質使用量において低減が図れました。また廃棄物の埋立量につきましては、ゼロエミッション\*1を達成しています。

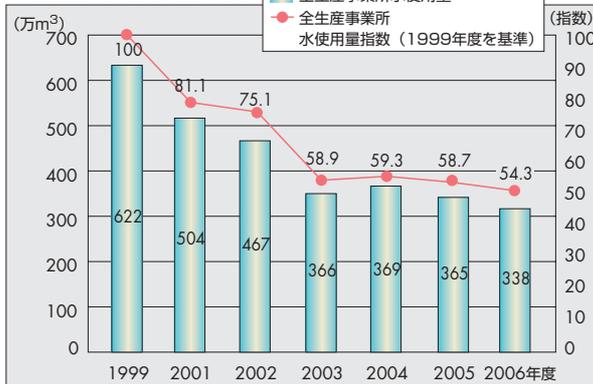
### ◆全生産事業所CO<sub>2</sub>排出量の推移



### ◆全生産事業所廃棄物埋立量の推移



### ◆全生産事業所水使用量の推移



### ◆全生産事業所PRTR対象化学物質取扱量と排出量



\*1 当社のゼロエミッションの定義：埋立物（直接埋め立てされるもの+中間処理後に埋め立てされるもの）の総量が金属くずを除く廃棄物（産業廃棄物+特別管理産業廃棄物+事業系一般廃棄物）の総量の0.5%未満のことをいいます。

### 環境マネジメントシステムの構築情況

スバルでは2004年度までに本社を含む全拠点でISO14001の外部認証を取得済みです。2006年度には、海外関連企業のSIA、SOA、RMIの3社が統合認証を取得しました。一方国内スバル特約店では熊本スバル(株)が認証を取得し、これで国内スバル特約店のISO14001外部認証取得は合計6社となりました。また当社では環境監査を毎年度定期的を実施して、環境マネジメントシステムの有効性を確認しています。

### 環境会計

当社では2000年度より環境会計を導入しています。当社の2006年度環境コストは159億円となり、前年度より3.5億円増加しました。これは研究開発費の増加などによるものであり、生産段階のコストをみると5千万円の低減が図れました。また経済効果は19億円となり、前年度より1億円増加しました。これは有価物売却単価の上昇などによるものです。

環境会計の詳細はwebデータ編P11をご参照下さい。

### 環境教育・啓発

当社では2004年度に全社統一の階層別教育テキストを作成し、毎年度新入社員をはじめ社内資格昇格者を対象に各階層に応じた環境教育を実施しています。また環境マネジメントシステムに基づいた緊急時対応訓練、改善事例発表会、取引先各社への教育支援などを計画的に実施しています。

### 環境コミュニケーション

当社では各事業所周辺地域の方々とのコミュニケーション窓口を設けるとともに、さまざまな方法で環境情報の発信を行っています。群馬製作所のスバルビジターセンターには当社の環境取り組みを紹介する「リサイクルラボ」を設けております。2006年度は小学生を中心に82,130名(小学生69,031名、875校、一般13,099名)の方々に見学していただきました。



リサイクルの流れが分かるリサイクルラボ。

## 環境法規制値超過、環境事故・苦情

2006年度当社の環境法規制値超過(地域協定値、当社自主基準値の超過を含む)、環境事故および苦情の発生件数とそれぞれの主な内容・対策結果は下表の通りです。今後も発生原因の究明と対策を行い、「ゼロ」を目指した取り組みを進めてまいります。

#### ◆2006年度 環境法規制値超過件数と内容

事業所名	発生件数	主な内容	主な是正処置
群馬製作所	騒音1件	矢島工場の騒音測定値の一部が自主基準値を超える値となりました。	対象工場の排気ファンにインバータを設置し、排気口の向きを変更する処置を行った結果、自主基準値以内に改善されました。
埼玉製作所	騒音1件	工場北東(赤堀川)河川敷側の騒音測定値が法規制値を超える値となりました。	行政に報告し、適正に管理しています。また、本件に関して、苦情等は発生していません。
	水質2件	下水道放流水のBODとpH測定値が、自主基準値を超える値となりました。	原因と考えられる、排水処理設備などの消耗品の定期交換や配管の清掃を行いました。

当社では、環境法規制値よりも20%きびしい値を自主基準値として設定し、この自主基準値超過「ゼロ」を目標として取り組んでいます。

#### ◆2006年度 環境事故発生件数と内容

事業所名	発生件数	主な内容	主な是正処置
群馬製作所	5件うち外部流出1件	本工場内建屋基礎工事現場から白濁水(泥水)が構外に流出した外部流出事故ほか、計5件の事故が発生しました。	毎年工事業者に対して事故防止教育を行っていますが、再度、工事を実施した業者に対して注意・指導の実施や、作業手順の改訂を行い、再発防止を図りました。
航空宇宙カンパニー(宇都宮製作所)	4件	クロム廃液の漏洩事故ほか4件発生しました。	工事業者指導、手順の改訂などの対策を図りました。
東京事業所	2件	オイル漏洩事故が2件発生しました。	それぞれ作業手順の改訂を行い、再発防止を図りました。

当社では、事業所内部で処理が完了したものも含めて、環境事故をカウントして事故件数の低減・外部へ影響する事故の未然防止に取り組んでいます。

#### ◆2006年度 環境苦情件数と内容

事業所名	発生件数	主な内容	主な是正処置
航空宇宙カンパニー(宇都宮製作所)	騒音6件	航空機の騒音3件ほか、計6件の苦情が発生しました。	航空機エンジンを稼働する際の配慮(平日・休日ならびに時間帯[夜間])や、防音対策の実施などを実施しました。
エコテクノロジーカンパニー(宇都宮製作所)	臭気1件	工場西側にお住まいの方より塗装臭気苦情1件が発生しました。	各種調査しましたが原因の特定にはいたりませんでした。当面、塗装工場の排気については十分注意を図ります。
	騒音1件	工場西側にお住まいの方より、フォークリフトに関する騒音苦情1件が発生しました。	フォークリフト運転者に対する教育を実施しました。